



写真提供 (公財)野口英世記念会

横浜市 長浜ホール「野口英世博士への手紙コンテスト」原稿用紙

学校名

並木中央小

6

年

1

組

名前

服部 美来

私が野口さんの生き方で一番心に残ったのは、自分のことだけでなく、病気で苦しんでいる人のことを救いたいたいということです。

私は、自分だけとか周りの人のことをあまり気にしないで過ごしてしまふ時があります。でも、野口さんは、自分のことを考えるのではなく、病気で苦しんでいる人を救いたいたい、助けたいという一心で努力をしたことが私はすごいなと思いました。また、そのような努力が出来たのは、幼い時の経験があったからだと私は思いました。手のやけどを医者に治してもらったからこそ人を救いたいたい、助けたいという優しさに満ちあふれた人になったのだなと思います。

私も、野口さんのように、何かあれば人を助けたり、救える人になりたいです。自分だけが大きく周りにかかり目を向けて生きることは、さしてもらいました。野口さんの生き方で行動することを意識して頑張りたいです。